

藤間勘十郎・作、「甲冑能^新信長」



梅若玄祥が舞う!

2011 12/17^土
名古屋能楽堂

12時開場 / 12時30分開演

※ 12時30分～ショート解説有
(八世藤間勘十郎)

甲冑能^{かっちゅうのう} 新作 **信長**^{のぶなが}

作: 藤間勘十郎

演出: 梅若六郎玄祥

〈出演〉 前シテ 観世喜正
後シテ 梅若玄祥 他

狂言 **附子**^{ぶす}

〈出演〉 シテ 野村又三郎 他

S席: ¥10,000
A席: ¥8,000
B席: ¥5,000
学生席: ¥2,500
(全席指定/税込)

平 怨
等 親

人間五十年、下天のうちには比ぶれば――

梅若六郎玄祥

信長ゆかりの地を訪ね歩くひとりの旅僧が、なにもものかに引かれ導かれるが如く比叡山に辿り着き、そこがかつての武将・信長と出会うという神秘的な物語です。

撮影: 生原良幸 ©2011

チケット 発売所 チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 412-951 ローソンチケット 0570-084-004 Lコード 42669 イープラス eplus.jp 名古屋能楽堂、愛知芸術文化センター、栄プレチケ92、中目サービスセンター、セブン-イレブン店頭、他有名PG 7月9日(土)10:00～ 一般発売開始

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願致します。 ※番組・出演者は変更になる場合があります。ご了承ください。 ※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもお断りしています。

お問合せお申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333 【協賛】 盛田エンタプライズ株式会社 【主催】 中京テレビ放送 【共催】 エムアンドエム 【招聘/企画制作】 ダンスウエスト 【後援】 名古屋伝統文化を守る会

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月～金 AM9:30～PM17:30/土・日・祝日休業) 中京テレビ事業 検索 http://cte.jp

甲冑能 新作

信長

作…藤間勘十郎 演出…梅若六郎玄祥

出演者…前シテ 放下の者 観世喜正
信長の化身

後シテ 信長の霊 梅若玄祥

旅僧 角当直隆 僧兵の霊 川口晃平

笛 鹿取希世

小鼓 後藤嘉津幸

大鼓 山本哲也

後見 山本博通

地謡 山崎正道

井上和幸

坂真太郎

河本 望

本年五月物語の舞台となった比叡山延暦寺で初演し、大好評を博した話題の新作！
全国の能楽堂に先駆けて、名古屋能楽堂に初お目見え!!

新作「信長」の根底に流れるのは、敵味方を問わず一切の犠牲者を平等に愛し憐れみ供養救済する仏教の教え「怨親平等」。無念の死を遂げたかつての武将、信長。前半・前場では、放下の若人に姿を変え所縁の僧の前に現れ、懐かしい対面を果たす。後半・後場では、甲冑を着け、自ら信長を名乗り非情の最期と怨念を暴露するが、最後は、かつての武将信長も諸行無常を悟り、敵味方なく赦し憐れむ心を宿すことにより、彼の魂も供養成仏をなし還っていくという物語。
後場で武者姿の信長が甲冑を実際着用する演出も見どころの一つであり、武者の凄壮な雄姿にダイナミックかつ夢幻感漂う悲哀美が感じられるドラマチックな作品である。また、兵どもの御霊の鎮魂と平和の祈りは永久の願いでもある。
古く観阿弥・世阿弥、大和猿楽四座が活躍した時代、奈良県桜井市に位置する多武峰(とうのみね)談山神社にて演じられていた猿楽において、実馬・甲冑を着用しての演能を「具足能」または「甲冑能」と呼び、実際演じられていたという記録が残っている。

狂言

附子

太郎冠者 野村又三郎

主 松田高義

次郎冠者 奥津健太郎

後見 伴野俊彦

アフタートーク(予定)

梅若玄祥

藤間勘十郎



撮影:生原良幸 ©2011



梅若玄祥



観世喜正



野村又三郎



藤間勘十郎

「名古屋伝統文化を守る会」
賛助会員募集中!

年会費

- ◆ 賛助会員(法人): 1口 30,000円
- ◆ 賛助会員(個人): 1口 10,000円
- ◆ 賛助会員(学生): 1口 3,000円

会員特典

- ① 「名古屋華舞台」への御招待(1名様)
- ② 「名古屋華舞台」演者との親睦会へのご案内 他